

平成29年度、県内の荷主の中で拘束時間が長い、長時間の手待ちが発生している荷主を対象に荷主実態調査を実施する。

荷主の実態調査・ヒアリングを通じて、各々の荷主の抱えている課題を抽出し、荷主の改善内容を把握するとともに更なる改善努力を促すことを目的とする。

東北6県の各協議会において調査を実施することとし、東北運輸局がとりまとめを行い、各県の協議会において調査結果を報告・整理することとする。

## スケジュール案

